

漆原啓子デビュー 40周年記念 Vol.3

漆原啓子 & 野平一郎

Reiko Urushihara & Ichiro Nodaira

デュオ・リサイタル

Duo Recital

〔ヴァイオリン〕
漆原啓子
©谷口大輔

この日のために書き下ろした
野平一郎 新作世界初演

〔作曲・ピアノ〕
野平一郎
©YOKO SHIMAZAKI

Program

ドビュッシー：ヴァイオリン・ソナタ

Debussy: Violin Sonata

プーランク：ヴァイオリン・ソナタ FP.119

Poulenc: Violin Sonata FP.119

野平一郎：委嘱作品（新作世界初演）

Ichiro Nodaira: Untitled commissioned work (World Premiere)

フォーレ：ヴァイオリン・ソナタ 第1番 イ長調 Op.13

Faure: Violin Sonata No.1 in A Major Op.13

2023. 3/11(土) 14:00開演
(13:15開場/16:00終演予定)

東京文化会館 小ホール

2:00p.m., Saturday, March 11, 2023 at Tokyo Bunka Kaikan Recital Hall

全席指定 ¥5,000 学生席 ¥3,000

※ チケット料金には消費税が含まれております。

※ 学生席および特別割引料金についての詳細は裏面をご覧ください。

※ 先行発売などで満席となった場合は、以降発売されない場合があります。

〔お申込み・お問合せ〕

ジャパン・アーツぴあ 0570-00-1212

www.japanarts.co.jp

東京文化会館チケットサービス

03-5685-0650

◎チケットぴあ t.pia.jp (Pコード:229-590)

◎イープラス eplus.jp ◎ローソンチケット l-tike.com (Lコード:36034)

主催：ジャパン・アーツ

ジャパン・アーツぴあ
オンラインチケット

2022.

11/5(土)

10:00

一般発売

2022.

11/12(土)

10:00

円熟の漆原啓子が満を持して挑む、
デビュー40周年記念リサイタル第3弾

デビュー40周年シリーズも第3回目を迎える事となりました。最終回「フランス編」は、私が最も尊敬する音楽家の一人野平一郎先生をお迎えしての演奏です。

長年フランスでご活躍されていたりっしやいました野平先生と共に「いつかフランス音楽を演奏したい」と、ずっと願っていました。

更に今回、先生には委嘱作品をお願いしています。

この日の為に書き下ろして下さった特別な曲に心躍る気持ちでおります。

野平先生との演奏はいつもより大きな道しるべを示して下さいます。私も大船に乗った気持ちで、デビューから40周年を応援して下さいました皆様へのお礼と、私の演奏活動のこれからの第一歩を、どうぞこの演奏会でご堪能頂けると幸いです。

—— 漆原 啓子



野平一郎

(作曲・ピアノ)

Ichiro Nodaira, Composition/Piano

東京藝術大学、同大学院修士課程作曲科を修了後、フランス政府給費留学生としてパリ国立高等音楽院に学ぶ。ピアニストとしては内外のオーケストラにソリストとして出演する一方、多くの国際的名手たちと共演し、室内楽奏者としても活躍。古典から現代までレパートリーは幅広い。近年はコンチェルトの弾き振りや、自作自演を含めた指揮活動も多い。

©YOKO SHIMAZAKI

150曲に及ぶ作品の中には、フランス文化庁、アンサンブル・アンテルコントポラン、IRCAM、国立劇場からの委嘱作品があり、近作では「祝典序曲」(ケント・ナガノ指揮/モントリオール響)、『触知できない領域〜チェロとピアノのための〜』(チェロ:堤剛)、『管弦楽のための「時の歪み」』(杉山洋一指揮/東京都交響楽団)、室内オペラ「亡命」(サントリーホール、NHK交響楽団との3回に亘る新作発表のプロジェクト「シズオカ・トリロジー」)「記憶と対話」(同II「終わりなき旅」)「同III「瞬間と永遠の歌」」(野平一郎指揮/ NHK交響楽団 静岡グランシップ)など、いずれの作品も圧倒的な成功を取めた。

第13回中島健蔵音楽賞(1995)、第44回、第61回尾高賞、芸術選奨文部大臣新人賞、第11回京都音楽賞実践部門賞(1996)、第35回サントリー音楽賞(2004)、第55回芸術選奨文部科学大臣賞(2005)、日本芸術院賞(2018)、第52回ENEOS音楽賞洋楽部門本賞(2022)受賞。2012年春、紫綬褒章受章。現在、静岡音楽館AOI芸術監督、東京文化会館音楽監督。東京藝術大学名誉教授、東京音楽大学教授。2021年より3年間モナコ・ビエール皇太子財団音楽評議員を務める。仙台国際音楽コンクールピアノ部門審査委員長。

Keiko Urushihara & Ichiro Nodaira

漆原啓子 (ヴァイオリン)

Keiko Urushihara, Violin

日本を代表するヴァイオリニスト。2021年にはデビュー40周年を迎えた。

1981年東京藝術大学付属高校在学中に、第8回ヴィニャフスキ国際コンクールに於いて最年少18歳、日本人初の優勝と6つの副賞を受賞。その翌年、東京藝術大学入学と同時に本格的演奏活動を開始。1986年、ハレー・ストリング・カルテットとして民音コンクール室内楽部門で優勝並びに斎藤秀雄賞を受賞。これまで国内外でのツアーの他、TV出演、海外主要音楽祭、マスタークラスなどに多数出演。また、V.スピヴェコフ、E.ルカーチ、J.ビエロフラーヴェク等の指揮者や、ハンガリー国立響、スロヴァキア・フィル、ウィーン放送響等のオーケストラと共演し賛辞を浴びた。

CDは数多くリリースしており、J.S.バッハの無伴奏CD(日本アコースティックレコーズ)がレコード芸術特選盤に選ばれた。また、漆原朝子との録音「無伴奏ヴァイオリン・デュオ」(日本アコースティックレコーズ)は文化庁芸術祭レコード部門優秀賞を受賞。2017年には、ヤコブ・ロイシュナーと「モーツァルト:ヴァイオリンとピアノのための作品全集」をリリースし、レコード芸術特選盤に選ばれた。

漆原啓子を中心となり結成した「ひばり弦楽四重奏団」では、ベートーヴェン弦楽四重奏曲の全曲演奏を活動の主軸とした長期プロジェクトを開始。常に第一線で活躍を続け、安定した高水準の演奏は音楽ファンのみならず、指揮者、オーケストラ・メンバー等の音楽家の間でも非常に高い信頼を得ている。現在、国立音楽大学客員教授、桐朋学園大学特任教授。



© 谷口大輔

【特別割引チケットのご案内】

*ジャパン・アーツびあコールセンター及びジャパン・アーツびあオンラインチケットで受付

◎学生席 ※11/12(土)一般発売時より受付開始いたします。*社会人学生を除く公演当日25歳までの学生が対象です。公演当日入口または窓口にて学生証を拝見させていただきます。学生証が無い場合は一般料金との差額を頂戴いたします。

◎車椅子の方は、本人と付き添いの方1名までが割引になります。(ジャパン・アーツびあコールセンターのみで受付)

〈次のことをあらかじめご承知の上、チケットをお求め下さいませ。〉

- ①やむを得ない事情により、曲目・曲順等が変更になる場合がございます。
- ②公演中止の場合を除き、お求め頂きましたチケットのキャンセル・変更等はできません。
- ③いかなる場合も再発行できません。紛失等には十分ご注意ください。
- ④演奏中は入場できません。
- ⑤未就学児の同伴はご遠慮下さい。なお就学児以上の方もご入場には1人1枚チケットが必要です。
- ⑥全指定席です。指定の座席にてご鑑賞下さい。
- ⑦場内での写真撮影・録音・録画・携帯電話等の使用は、固くお断りいたします。
- ⑧ネットオークションなどによるチケットの転売は、トラブルの原因になりますのでお断りいたします。
- ⑨他のお客様のご迷惑となる場合、主催者の判断でご退場いただく場合がございます。
- ⑩公演実施の可否は新型コロナウイルス感染状況を見極めて慎重に判断させていただきます。

Twitterでフォローする
@japan_arts